

地域再生プロジェクトの実施結果調書

市町村名	利尻町
------	-----

1 地域再生プロジェクト実施結果（プロジェクト全体）

（ 2年計画のうち 1年目）

実施主体	市町村名：利尻町 民間団体名：利尻町観光協会、利尻町商工会、NPO 利尻ふる里・島づくりセンター		計	1市町村 3団体
プロジェクト名	取り戻そう自信と誇り 島暮らし自慢プロジェクト		格差の分野：社会構造の格差	
地域重点プロジェクトとの関連性	該当	地域重点プロジェクト名	主な取組	
	非該当	道北観光の魅力発見プロジェクト	離島観光の推進	
地域の課題及び地域再生プロジェクトの目標	<p>地域の課題</p> <p>平成19年度から平成21年度にかけて「資源蘇生の町づくりプロジェクト」に取り組み、地域資源の蘇生（利活用）によって、通年及び滞在・体験型観光への転換、商店街の振興、文化産業の創出等により地域経済の活性化と定住促進の取り組みを進め、一定程度の成果を得たものの、地域経済の格差を是正するに至ってはいない。人口減少もH11年 21年の10年間減少率も30.41%で、直近過去5年間の対前年比は3～4%前後の減少とやや鈍化傾向に見えるが、これは分母が小さくなったことに由来するものであり、H17年 H21年の5年間減少率は-12.45%となっており、人口減少に歯止めがかかったとは言えない状況である。このように、利尻町は人口減少と高齢化、あわせて観光入込み客数の減少、少子化といった地域の基本となるものが大きな格差を抱えている地域であり、この格差是正は喫緊の課題である。</p> <p>プロジェクトの目標</p> <p>前述したように前プロジェクトでは地域経済の格差是正を主としてきたが、当町の格差が複合的なものであることから、格差の是正と地域再生は前プロジェクトの総括と成果を基礎として、更に様々な事業を有機的に組み合わせる必要がある。また、前プロジェクトにより無形、有形の地域資源蘇生（利活用）への取り組みはできたが、そうした地域資源を地域が自信や誇りをもって自慢する又はしようとする地域の強い思いがなければ、次のステップへとは繋がらないことから、物だけではない「人」や「暮らし」も「地域資源」となることも認識し、引き続き島からの文化・芸術、そして歴史の発信をしながら、利尻島での「島暮らし」を自信と誇りをもって自慢する（できる）を目指し、こだわりと愛着を醸成することを目標とする。</p>			
取組の成果	<p>住民等の評価：プロジェクトの実施により、地域住民がこれまで気づかなかった「モノ」が地域資源となることを認識し、島自慢カナル・ポストカードとミニチュア漁具は地域から高い評価を得、利尻島の歴史に関する講座・展示、豆本についても歴史を通して利尻島の重要性について興味が深まったという感想が多く聞かれた。食に関する取り組みも検討委員会の立ち上げにより、本腰を入れての「掘り起こし」の取り組みに期待が高まっている。</p> <p>計画に対する達成度：計画した事業を予定通り実施し、プロジェクトの目標である「利尻島での「島暮らし」を自信と誇りをもって自慢する（できる）を目指し、こだわりと愛着を醸成」について、初年度として一定の成果をあげたものと認識している。</p>			

	<p>具体的な効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まち歩きコンテンツ整備では、23年度の一般ツアー及びクルーズ船ツアーの着地型プランで6本450人の採用が決定されている。 ・ ミチア漁具、島自慢カレンダー・ポストカードに関して、地域内外からの購入や販売等に関する問合せが多数寄せられ、ミチア漁具に関しては23年度から本格的な販売がされる。 	<p>交付金支援期間終了時の成果目標に対する現時点での達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少の鈍化 (H17 H21) 12.45% (H19 H23) 10%以内(5年間減少率) ・ 移住人口の増加 (H21) 1人 (H23) 2人 ・ 少子化率の回復 (H21) 9.8% (H23) 10% ・ 観光入込客数の回復 (H21) 17万人 (H23) 18万人 <p>上記に関しては、現時点での把握は困難である。</p>
<p>プロジェクト推進上の課題・問題点</p>	<p>課題点等 プロジェクト推進にあたり、より多くの地域の人と協働や関わりを深めることが望まれる。</p> <hr/> <p>課題を踏まえた今後の展開 出来る限り多様な地域の人々と関わりを持てるよう展開したい。</p>	

計	事業数 [8]	全体計画	26,535			400	815	25,013		307	10,500
		初年度(22)	7,664			400	315	6,642		307	4,500
		2年度目(23)	12,371				500	11,871			6,000
		(24)	6,500					6,500			

注 1 プロジェクトを構成する全事業の実績について記載すること。

2 平成21年度以前の地域再生チャレンジ交付金で採択された地域再生プロジェクトは、計画期間に応じて「年次」最下欄に3年度目を追記すること。

3 「事業費」、「財源内訳」及び「交付金要望額」欄は実績額又は予定額を記載すること。

4 その他記載に当たっては、別記第2号様式に準じること。

(2) 実施内容について

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
1	地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊事業の実施により、移住・定住の促進と地域の活性化を目指す。	初年度(22)	H22.4月より求人誌、ホームページ等により募集を開始 採用枠 1名 応募者 3名 H22.6月より1名が活動開始	【効果】 NPO 法人利尻ふる里・島づくりセンターの支援育成に関する活動を主に地域活性化に貢献。また観光関連施設等の点検時は、住民とは違う観光客等の視点で点検することができ、改善点等の整理に貢献している。更に、定期的なブログ更新により、新鮮な地域情報の発信を展開している。 【課題】 地域住民に対する地域おこし協力隊活動のPR。	平成23年度に、隊員を1名追加し事業を拡大すると共に、移住・定住の促進に向けた検討。
			2年度目()			
			()			
2	利尻島歴史展、利尻山写真展開催事業	利尻島が日本の近世の歴史に大きな影響を与えたことから古代から近世の利尻展「人は北へ物は南へ」と多くの写真家が撮影してきた利尻山写真展「海は山から」を開催する。	初年度(22)	利尻島に関する歴史展及び巡検・講座を実施 ・利尻島巡検・講座開催(9/24~9/26) ・利尻島の絵画展・講座開催(11/26) ・利尻島歴史展開催(3/1~3/21)	【効果】 利尻島の歴史上における重要性を内外に再認識してもらった機会となり、今後の利尻島の歴史研究に良い影響を与える一助となった。	博物館が主体となって定期的な講座や歴史展の開催と、利尻山写真展の実施。
			2年度目()			
			()			
3	利尻島豆本作成事業	利尻島の自然に関する書物は多数出版されているが、歴史、文化、産業に関してはほとんどないことから、地域読本として利用できる豆本を作成する。	初年度(22)	利尻島豆本シリーズ1「利尻島」を400部発行	【効果】 事業2と連動し、利尻島の歴史等の認識が深まり、また町内各所に配布したことでPRができた。 【課題】 豆本シリーズとして継続していくための財源等を含む課題の整理。	H23年度も引き続き「利尻島豆本2」を発行し、今後も継続していくことを検討。
			2年度目()			
			()			

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開
4	漁業資源のクラフト・フィギュア化事業	魚介類、漁具、漁法等をクラフトやフィギュア化して漁業関係資源を観光資源化する。	初年度(22)	ミニチュア漁具「ガラス箱」「ねじりまっか」、海岸ジオラマ素材セットを試作	【効果】 漁業者自らが漁具がクラフト品になることに気づくとともに地域内外で高く評価され、土産品等で利用したいとの要望等もあった。 【課題】 観光資源として土産物品党として利用する場合、製作コストや販路等の課題解決。	試作品は23年度から町内各所で販売し、次の試作研究に取り掛かる。
			2年度目()			
			()			
5	島自慢カルタ・ポストカード作成事業	地域の人々が撮影した自慢したい風景等でカルタ・ポストカード等を作成し、町内家庭への配布、利尻出身者への配布等により島自慢のコンテンツにする。	初年度(22)	島自慢カルタ・ポストカードを各2千部作成し町内外に配布	【効果】 カルタ・ポストカードの作成、配布により地域が「自慢の地域」であることが再認識され、特に利尻出身者にとって故郷の再発見、故郷の自慢に寄与した。 【課題】 今後の継続発行に向けての財源等を含む課題の整理。	23年度も同様にカルタ・ポストカードを作成し、24年度からは町単独事業で継続。
			2年度目()			
			()			
6	芸術イベント開催・芸能保存交流事業	文化芸術に触れる機会の格差を是正するため、芸術イベントの機会を提供するとともに、利尻唯一の郷土芸能「麒麟獅子舞」の保存と継続に向けた交流体制を確立する。	初年度(22)	「音楽のまちづくり」を目指し4回の音楽イベントを開催(開催日8/15、9/11、9/26、11/17)	【効果】 既存のイベントにおいては、イベントの目的を明確にすることができ、新規イベントについては財源を確保できたことにより、「音楽のまちづくり」という目的意識の高いイベント展開を推進することができた。 【課題】 財源を含めた継続的な実施に向けての検討。	横断的な連携をとり「音楽のまちづくり」を進めると共に、利尻唯一の郷土芸能「麒麟獅子舞」の保存と継続に向けた交流体制の確立。
			2年度目()			
			()			

No	事業名	計画内容	年次	実施状況	効果・課題	今後の展開	
7	沓形市街まち歩きコンテンツ整備事業	最近注目され始めたガイド（自然、タウン）付「まち歩き」ツアーの魅力アップとシステム化を図るため、ファーストフード等の食や休憩所のコンテンツ設定をする。	初年度（22）	オリジナルマップのデータを作成	【効果】 オリジナルマップデータ作成ができていますので、実際にガイド等の利用に役立コンテンツが増えた。 【課題】ファーストフードの試験提供ができなかったため、今後の事業展開の見直しを検討。	次年度にオリジナルマップの使用を検証するとともに、ファーストフードの試作提供を実施。	
			2年度目（ ）				
			（ ）				
8	未流通・未提供食資源の利活用事業	利尻ならではのと言われながら未流通、未提供の水産資源や食があることから、その見直しや掘り起こしをして、安定した提供や供給システムの構築とPR。	初年度（22）	検討委員会の発足により、旅行エージェントを含めたニーズ調査、食材の選定、レシピデータの作成	【効果】 食材の掘り起こしとそれらを用いた試作とレシピデータの作成。 【課題】 ニーズ調査等から出た課題等の整理、改善と地域に対するPR。	新メニューの決定と提供システムの構築	
			2年度目（ ）				
			（ ）				

注 1 (1)に記載した番号に対応する事業について、プロジェクトの期間を通じて、実施状況及び効果や課題を踏まえた今後の事業展開を記載すること。
2 平成21年度以前の地域再生チャレンジ交付金で採択された地域再生プロジェクトは、計画期間に応じて「年次」最下欄に3年度目を追記すること。